

スポーツ & レクリエーション

中学校総合体育大会東海大会、全国大会に出場

笠松中学校

笠松中学校の野球部、卓球部、水泳の選手の皆さんは、中学校総合体育大会地区・県大会を勝ち進み、8月6日、7日、10日に愛知県で開催された東海大会に出場しました。

各種目とも東海の強豪相手に健闘され、水泳の水谷華奈さんは、400メートル自由形で、大会新記録での優勝となりました。

水泳の水谷華奈さんは、「女子400メートル自由形」および「女子800メートル自由形」で全中標準記録突破を果たし、21日から大阪府門真市で開催された全国大会にも出場しました。

出場選手の皆さんは、次のとおりです。(敬称略)

東海大会

【野球部】稲葉真尚(主将)、長野幹大、橋本拓洋、市川尚徳、田島明志、谷口一輝、井坂駿介、伊賀寛明、服部浩明、香田淳宏、鈴木翔太、川出絢人、大野駿真、平川健介、桜井佑記、横山栄光、福島敬太、矢島良典

【卓球部】板橋秀明

【水 泳】水谷華奈、箕浦蓮、奥村尚平、赤塚翔

全国大会

【水 泳】水谷華奈



東海大会出場の激励会が行われました(8月2日 役場にて)

かさまつの民話『昔むかし』

米野の戦い②

八月二十一日の夜はひたひたと暮れ、夜空に鎌のような三日月が冷たく光っていた。物音ひとつしない夜であった。

「見たな。」「見た。」「見た。」

「見たな。」「おお、見たとも!」

同じことを叫びながら、村はずれの墓場や森かげに村人はかくれた。

「おお、みんな。これはたいへんな戦になるぞ。敵は円城寺の野々垣源兵衛を通じて、川を調べ、夜明けには攻めてくるぞ! わしらは戦にまきこまれてならんぞ。わかったなあ。」

「わかったとも。」

「…ん、だども。家、屋敷がつぶされるのを黙って見とるわけにやいかんぞ。」

「…家や田畑を取られりや、死んだも同然。それでも見とれというのかや。」

「ならぬ。存ぜぬ。戦にまきこまれちゃならぬ!。」

若者らの嘆きを白髪まじりの古老がなだめた。夜のまだ明けきらぬ朝霧の中を、尾張の軍が動きだした。白い旗をたてた五十騎あまりの兵を先頭に、ひたひたと川を渡って来るのが見える。中洲にたどりつくとはとは米野堤の前の本流である。

くもの子を散らすように川を渡る姿はいく重にも重なっていた。これを迎えるつ織田の軍勢は、わずか三千二百人であった。見はりの知らせをうけた美濃の軍勢は、それぞれの守りをかためた。川岸に

でて弓に矢をつがえる者、大筒をかまえて敵を威かくする者、上陸をまちかまえて身を備える者、米野一帯もようやく夜明けを破って動き出した。(つづく)

米野の戦い配置図

